

岐阜県の森林・林業

# 森もり林のたより

白山白川郷ホワイトロードまもなく開通  
～沿線の四季の風景をお楽しみ下さい～

No.789  
2019 June



**FREE**

ご自由に お持ちください。



春



夏



秋



冬

●詳しくは、3ページをご覧ください。

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail [sanrinag@quartz.ocn.ne.jp](mailto:sanrinag@quartz.ocn.ne.jp)

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	開催場所 申込(問合せ)先/TEL
6月7日(金)予定	白山白川郷 ホワイトロード 部分開通	白山白川郷ホワイトロードが部分開通(岐阜県側の馬狩料金所から石川県の中宮レストハウスまでの区間)します。 ●開通日:6月7日(金)予定 ※除雪及び工事の状況により開通日を決定しますので、詳しい日時はホームページでご確認ください。 ●供用期間:11月10日まで(予定) ●供用時間:午前7時~午後6時(6月~8月) 午後8時~午後5時(9月~11月) ●利用料金:軽自動車 1,400円、普通自動車 1,600円 マイクロバス 4,900円、大型バス 10,800円	白山白川郷ホワイトロード 岐阜県大野郡白川村鳩谷~ 石川県白山市尾浜  閉鎖期間中: 公益社団法人岐阜県森林公社 高山出張所 担当:知手(しるて) 高山市上岡本町 7-468 TEL:0577-33-1111(代表) 開通期間中: 白山林道岐阜管理事務所 大野郡白川村大字馬狩字幅上 246-4 TEL:05769-6-1664
6月8日(土) (第2回以降の 詳細日程は後日、 本紙面、センターHP、 センターFacebookにて 告知予定)	連続講座 「野生動物を知る」 (第1回)	●内容:野生鳥獣問題の歴史と鳥獣保護管理法の変遷について。 ●時間:13:00~15:00 ●講師:常田 邦彦 (元・自然環境研究センター 研究主幹) ●参加費:無料 ●対象:一般市民 行政職員 関係者等 ●事前申込期限:6月6日(木) (当日参加も可能ですが、資料をお渡しできないことがあります)	岐阜大学応用生物科学部 101 多目的ホール (岐阜市柳戸 1-1)  岐阜大学応用生物科学部附属 野生動物管理学研究センター 寄附研究部門「鳥獣管理の教育と普及」 tel&fax:058-293-3416 メールアドレス:rcwm@gifu-u.ac.jp URL https://www1.gifu-u.ac.jp/~rcwm/ Facebook http://www.facebook.com/gurcwm/
7月3日(水)	「山の日」 シンポジウム in揖斐川	●内容:「山の日」の趣旨を普及するため、シンポジウムを開催します。 ●時間:13:30~16:00 ●参加者:一般県民、県内環境・森林活動団体、山岳団体、高校生、行政等 ●参加料 無料	揖斐川町地域交流センター「はなもも」 (揖斐郡揖斐川町上南方 27 番地 7)  岐阜県環境企画課 058-272-1111内線2697 担当 河田、秋岡
7月11日(木)	令和元年度 岐阜県森林研究所 「研究・成果発表会」	●内容:岐阜県森林研究所で取り組んでいる森林管理や森林資源の活用に関する研究内容を紹介します。 ●時間:13:00~16:30(予定) ●参加料:無料 ●事前申込:必要(FAX、電子メール、郵送にて)	わかさ・プラザ (岐阜県関市若草通 2 丁目 1 番地)  岐阜県森林研究所 (岐阜県美濃市曾代 1128-1) TEL:0575-33-2585
7月20日(土)	森林文化アカデミー オープンキャンパス	●内容:①学校の概要説明、②森と木のエンジニア科の説明会、③森と木のクリエイター科教員によるリレートーク、④教員との面談、⑤なんでも相談、在校生とのフリートーク、⑥学内見学ツアーなど ●時間:10:00~16:00 ●参加料:無料 ●事前申込:必要(WEBから)	森林文化アカデミー (美濃市曾代 8 8)  森林文化アカデミー TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529 E-mail info@forest.ac.jp URL https://www.forest.ac.jp/

<p>市況……………18</p> <p>林業者向けお知らせ……………17</p> <p>令和元年 山地災害防止キャンペーン……………17</p> <p>岐阜森林管理署長としての抱負……………16</p> <p>国有林の現場から(32)……………14</p> <p>主伐・再造林実証プロジェクト(関市上之保)……………14</p> <p>普及コーナー……………13</p> <p>研究コーナー 早生樹を知っていますか……………12</p> <p>自然公園内における自然侵入に配慮した緑化工法について……………12</p> <p>治山・林道研究課題……………11</p> <p>ソシヤルビジネスの潮流と山村移住……………11</p> <p>森林と人を活かす知恵(78)……………10</p> <p>山のおしまひ(75) —しづく調べる、クロンジー—……………10</p> <p>わがまちの森林・環境行政(30) 八百津町の森林づくり……………8</p> <p>シリーズ「森林・環境税で緑豊かな清流の国ぎふづくり」(2)……………9</p> <p>シリーズ「森林・環境税で緑豊かな清流の国ぎふづくり」……………9</p> <p>第32回きのこ料理コンクール全国大会が開催されました。……………7</p> <p>令和元年度 狩猟免許試験と免許講習会のご案内……………6</p> <p>水源地見学会参加者募集……………5</p> <p>中部北陸自然歩道のガイドマップを作成しました……………5</p> <p>山の歳時記(166) ギボウシ……………4</p> <p>「白山白川郷ホワイトロード」が部分開通します……………3</p> <p>公有林化による水源林の保全……………3</p> <p>100年先の森林づくりシリーズ 8……………3</p> <p>イベントカレンダー(一般向け)……………2</p>	<p>目次 Contents</p>	<p>岐阜県の森林・林業 News of the forest</p> <p><b>森 もり 林のたより</b></p> <p>No.789 6 2019 June</p>  <p>表紙 ●白山白川郷ホワイトロードまもなく開通 ～沿線の四季の風景をお楽しみ下さい～</p>
---	--------------------	---

**100年先の  
森林づくり  
シリーズ 8**

第3期岐阜県森林づくり基本計画（H29～H33）では、望ましい森林の姿へ配置転換する「100年先の森林づくり」、林業経営を重視した「生きた森林づくり」、環境保全を重視した「恵みの森林づくり」に取り組んでいます。これらの取組状況について、隔月連載でご紹介します。

**◆恵みの森林づくり 森林の適正な保全**

## 公有林化による水源林の保全

「清流の国ぎふ」と言われる岐阜県の「清流」を守り、後世に引き継いでいくためには、水源となる森林の適正な保全が必要です。

そのため、県では岐阜県水源地域保全条例により、公共の用に供する水源を保全するための水源地域を指定し、水源地域内で土地売買等を行う場合の事前届出を義務づけています。

こうした保全の取組みに加えて、水源地域内の荒廃又は荒廃するおそれがある森林で早急に公的な管理を行う必要がある森林を市町村が取得する場合、取得にかかる経費を助成する「水源林公有林化支援事業」を実施しています。

この事業により、平成24年度から平成30年度までの7年間で、のべ12市町が約105haの森林を取得しました。

白川町では、毎年この事業により、町有林に近接する私有林を取得し、町有林と一体的な管理をすることで、水源林を保全しています。



公有林化した森林(白川町)



取水施設(白川町)

【治山課 木村 等】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL058-272-8496 治山課水源林保全係まで

## 「白山白川郷ホワイトロード」が部分開通します

白川村と石川県白山市を結ぶ山岳有料道路「白山白川郷ホワイトロード」は、6月7日（金）午前10時に部分開通（岐阜県側の馬狩料金所から石川県の中宮レストハウスまでの区間）します。

白山国立公園特別保護地域の山岳地帯を通過するホワイトロードは、この季節、残雪と新緑の両方を楽しむことができます。壮大な山々の風景や、渓谷から吹き上がる冷涼な空気が、爽やかな世界を感じさせてくれます。ブナのこみちの散策や、三方岩岳へのトレッキングなど、ホワイトロードの大自然をぜひお楽しみください。

なお、詳しい情報は、白山林道岐阜管理事務所にお尋ねいただくか、ホームページでご確認ください。

【治山課 増田 龍太】

### 通行料金

軽自動車	1,400円
普通自動車	1,600円
マイクロバス	4,900円
大型バス	10,800円



※ブナのこみち



※三方岩岳山頂より白山を望む

お問い合わせ先 白山林道岐阜管理事務所  
TEL/FAX 05769-6-1664  
<http://hs-whiteroad.jp/>



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

「ウルイ食べるかい?」、六月初旬に出かけた山で地元の方に聞かれました。

昔の人は庭の花やいろどりとして植えられるオオバギボウシ (*Hosta montana*) やコバギボウシ (*H. sieboldii*) など、ギボウシ類の新芽を「ウルイ、ウリッパ」と呼んで、おひたしや味噌汁にして食べてきました。

葉が巻いたままの新芽であれば全草を、葉が開いたものは茎の部

分だけを食用にします。ウルイの名は葉の表面が濃緑色で瓜(ウリ)を思わせる「瓜菜(うりな)」が転じたと考えられています。葉にはビタミンやミネラル類の他にヌメリ成分の中に多糖類が多く含まれ、淡泊でくせが無く、一度食べると独特のヌメリと歯触りが忘れられなくなります。

山では採ったものをそのまま味噌汁に入れますが、天ぷらやおひたし、酢味噌あえ、煮物、漬物でも美味しく頂けます。他にも、葉柄を湯がいて乾燥したものは「山干瓢」と呼んで保存食とし、飛騨地方などでは報恩講の時に白和えなどとして食べられました。

他にも、北海道ではアイヌの人々がタチギボウシ (*Hosta sieboldii* var. *rectifolia*) の葉柄を刻んで、お粥に入れて食べていたそうです。現在でも年間百トン以上のギボウシが取引される山形県などでは、食農教育の一環で学校給食に出される地域があるほどです。

ただし一つ注意してほしいのは、ギボウシの若芽が有毒植物のバイケイソウ (*Veratrum grandiflorum*) によく似ていることです。万が一、誤って食べると、体のしびれや血圧低下、めまいといった中毒症状を引き起こす事故となってしまう。両者を若芽で区別するのは大変難しく、知っている場所でないければ採らない、食べないという心掛けが重要なのです。

ギボウシは食用というよりも、庭を彩る植物としての価値が高く、品種によっては葉が美しかったり、甘いいい香りがしたりするため人気があります。室町時代には既に庭の植込みや生け花に利用され、江戸時代には園芸植物として栽培も盛んとなり、現在も古典植物の一つとして人気を保っています。江戸時代にシーボルトなどの植物ハンターたちが、イギリスや欧州各地に持ち帰って多くの品種を作出したため海外でも人気があり、近年はアメリカで新品種が

多く作出されています。

ギボウシは環境さえ合えば、種子繁殖も栄養繁殖も旺盛で、容易に交配して雑種が発生する特性があります。また突然変異も多く、葉の色や斑が入る芽変わりなどが生じやすい反面、株分け等で斑が消えてしまうなど、形質固定が不安定性もあり、優良品種の固定が難しいと言われています。

さて、山でのウルイ話、私は地元の方のお陰で、おいしい味噌汁に舌鼓を打ったのです。



▲山菜として販売されていたギボウシ

# 中部北陸自然歩道のガイドマップを作成しました



ガイドマップでは中部北陸自然歩道の岐阜県内の総延長377.8kmのうち、1日単位で歩くことのできる25のコースを紹介しています。ガイドマップは2冊で1セットになっており、県庁環境企画課で無料配布しています。また、郵送も行っていますので、希望される方は次の手順でお申し込みください。

## <中部北陸自然歩道ガイドマップの郵便での取り寄せ方法>

### 1 お送りいただくもの

- (1) 住所、氏名を明記した返信用封筒(角2サイズ)に、返信用切手を貼付したもの
- (2) 貼付する切手: 180円(2冊1セット分。2セット以上を希望される場合は切手代が異なりますので、県庁環境企画課へお問い合わせください。

### 2 申込先

〒500-8570 岐阜県庁環境企画課自然公園係  
(中部北陸自然歩道ガイドマップ申し込み)



東海自然歩道のガイドマップも引き続き配布しています。

県のホームページでもマップやコース一覧を掲載していますので、「岐阜県 自然歩道」で検索して内容をご確認いただき、県内各地の自然、歴史、文化を再発見に出かけてみてはいかがでしょうか。

【環境企画課 大島、奥中】 ●詳しい内容を知りたい方は [TEL 058-272-1111](tel:058-272-1111) (内線2698) 環境企画課自然公園係まで

## ＊ 水源林見学会参加者募集 ＊

毎年、参加者から大好評をいただいている「水源林見学会」を今年も開催します。

この見学会は、公益社団法人木曾三川水源造成公社主催によるもので、木曾三川(木曾川、長良川及び揖斐川)流域の愛知、岐阜、三重にお住まいの方の参加を募集します。

見学会では、水源となる森林の大切さを理解していただくため、森の健康診断や水源林を守るための間伐体験を行います。夏の思い出づくりにぜひご参加ください。

【開催日】 令和元年8月3日(土)

【場所】 岐阜県中津川市の水源林

【集合場所等】 JR岐阜駅中央北口に8時集合、バスで現地へ移動  
JR岐阜駅に17時頃到着・解散予定

【参加対象】 愛知、岐阜、三重県内にお住まいの小学生とその保護者  
(保護者同伴。40名程度)

【活動内容】 森の健康診断、山仕事(間伐)体験等  
・生えている木を実際に伐っていただきます。  
・雨天の場合は、木工教室に変更予定です。  
・作業ができる服装でご参加ください。

【参加費】 無料

【応募方法】 はがき又はEメールに住所、参加者全員の氏名、ふりがな、年齢、生年月日、性別、電話番号を明記のうえ応募  
(応募者多数の場合は抽選(応募者全員に抽選結果をお知らせします。))

【応募期間】 7月12日(金)必着



お申込み、お問合わせは、公益社団法人木曾三川水源造成公社までお願いします。

【住所】 〒501-3756 美濃市生櫛1612-2 中濃総合庁舎5階

【電話番号】 0575-33-4011(内線405)

【ホームページ】 <http://www.kiso3sen.org/>

【Eメール】 [desk@kiso3sen.org](mailto:desk@kiso3sen.org)

【治山課 増田 龍太】

令和元年度

# 狩猟免許試験と免許講習会のご案内

狩猟や有害鳥獣の捕獲に必要な狩猟免許の試験と受験される方を対象とした無料の講習会を実施します。

## 令和元年度狩猟免許試験

### ■試験の日時及び場所等

日 時	場 所	免許の種類	申請書の受付期間
6月25日(火) 9:30~17:00	揖斐総合庁舎大会議室 (揖斐郡揖斐川町上南方1-1)	第一種 第二種	5月28日(火)~ 6月11日(火)
7月20日(土) 9:30~17:00	可茂総合庁舎大会議室 (美濃加茂市古井町下古井2610-1)	網 わな 第一種	6月21日(金)~ 7月 5日(金)
8月 7日(水) 9:30~17:00	岐阜県立森林文化アカデミー (美濃市曾代88)	わな	7月10日(水)~ 7月24日(水)
8月22日(木) 9:30~17:00	飛騨・世界生活文化センター (高山市千島町900-1)	第一種 第二種	7月25日(木)~ 8月 8日(木)
9月28日(土) 9:30~17:00	岐阜大学 全学共通教育講義棟 (岐阜市柳戸1-1)	網 わな 第一種	8月30日(金)~ 9月13日(金)
11月16日(土) 9:30~17:00	飛騨高山高校 山田キャンパス (高山市山田町711)	わな	10月18日(金)~11月 1日(金)
12月13日(金) 9:30~17:00	恵那総合庁舎大会議室 (恵那市長島町正家後田1067-71)	わな 第一種	11月15日(金)~11月29日(金)

### ■狩猟免許の種類

免許の種類	使用できる猟具
網猟免許	網(むそう網、はり網、つき網、なげ網)
わな猟免許	わな(くくりわな、はこわな、はこおとし、囲いわな)
第一種銃猟免許	装薬銃(ライフル銃・散弾銃)、空気銃(圧縮ガス銃を含む。)
第二種銃猟免許	空気銃(圧縮ガス銃を含む。)

### ■手 数 料

試験の新規受験者 免許1種類につき5,200円

試験の新規受験者で学生の方 免許1種類につき2,600円

狩猟免許取得者が別の狩猟免許を取得しようとする場合 免許1種類につき3,900円

### ■受 験 対 象 者

岐阜県内に住所を有し、網猟及びわな猟にあつては18歳以上、第1種銃猟及び第2種銃猟にあつては20歳以上の者(鳥獣保護管理法第40条第2号から第6号の規定に該当する方は受験できません。)

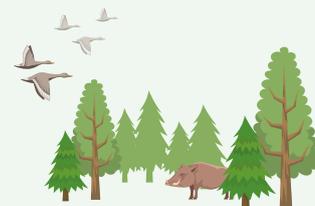
### ■提 出 書 類

岐阜地域環境室又は各県事務所環境課、環境企画課で配布しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/kankyo/shizenhogo/c11265/syuryo.html>からダウンロードすることもできます。

### ■提 出 先

住所地のある岐阜地域環境室又は各県事務所環境課



## 令和元年度狩猟免許講習会

狩猟免許試験を実施するにあたって、6月~11月に(一社)岐阜県猟友会への委託により、狩猟免許講習会を実施します。受講は希望者のみとなっており、事前に申し込みが必要です。  
問い合わせ先:(一社)岐阜県猟友会(TEL:058-272-8398)

(主催者:岐阜県、受託者:(一社)岐阜県猟友会)

## 第32回

# きのこ料理コンクール全国大会が 開催されました。

第32回きのこ料理コンクール全国大会(日本特用林産振興会主催)が3月14日に服部栄養専門学校にて開催されました。

県の料理コンテスト(第10回『日本でいちばん楽しいキノコ料理コンテスト』)にてグランプリ、準グランプリを受賞された河野 楓果さん(城南高等学校)と、梅村 桃花さん(同校)が岐阜県代表として出場しました。

全国から2,114件もの多数の応募から各地区の大会を勝ち抜いた13人の代表者によって競われ、梅村 桃花さんの「キノコタルト」は最高賞に次ぐ『しいたけ等特用林産振興議員連盟会長賞』に、河野 楓果さんの「ようかんdeきのこ」は『日本特用林産振興会長賞』に見事選ばれました。

(県コンテストの結果等については、全国農業協同組合連合会 岐阜県本部ホームページをご覧ください。

→ <http://www.gf.zennoh.or.jp/campaign/yamakko/con02/index.html>)

なお、第10回『日本でいちばん楽しいキノコ料理コンテスト』は、岐阜県が後援しており、県補助金(特用林産物生産体制強化支援対策事業)にて一部助成しています。



しいたけ等特用林産振興議員連盟会長賞を受賞された  
梅村 桃花さん



梅村さんの調理風景



河野さんの調理風景



梅村さんの作品(キノコタルト)



河野さんの作品(ようかんdeきのこ)

担当者 県産材流通課 資源活用係 時任 大樹

TEL:058-272-8486(直通) FAX:058-278-2705 E-mail:tokito-hiroki@pref.gifu.jp

# 八百津町の森林づくり



## 森林の概要

岐阜県の中濃地域東部に位置する八百津町は、東西19・8km、南北11・2km、総面積は128・79haで、森林面積は、10、275haで全体の約80%を森林が占めています。町南部には、木曾川が流れており、治水を主目的とした「丸山ダム」があります。ダムが造られる以前は、山で伐採された材木を筏状にして木曾川下流域へ運搬搬出していた歴史もあり、昔から林業とつながりの深い町です。

## めい想の森の紹介

丸山ダムによりせき止めて造られた蘇水湖の右岸に「めい想の森」公園があります。飛騨木曾川国定公園内に位置し、晴れた日には、展望台から伊吹山や恵那山なども見渡せます。園内には岐阜県の木「いちい」をはじめ様々な種類の樹木が植えられており、四季折々の自然を楽しむことができます。また、園内外には八百津町の木「松」も約300本あり、岐阜県森林・林業対策事業補助金を活用し、樹幹注入事業による松枯れの防除に努めています。

## 森林・環境税利用紹介

八百津町北部の福地地区に位置する、八百津町で一番高い山「見行山」周辺一帯の水源林を守っていく目的のもと、水源林公

有林化支援事業を活用し、約40haの私有林を平成26年度から28年度にかけて取得しました。

また、市町村提案事業として、遊歩道開設や県産材を使った看板やトイレの建設を行いました。平成30年度には、里山林整備事業として不要木除去や森林病害虫防除なども実施しています。



## 八百津町単独補助事業紹介

山林所有者や林業事業者が、積極的に搬出間伐を含めた森林整備に取り組み一助となるよう、間伐のための作業路開設作業の経費に対し補助事業を行っております。毎年、作業路の開設延長に合わせて助成をしています。

## キリン木曾川水源の森づくり事業の紹介

八百津町では、木曾川流域の自然豊かな水源となる森を整備する目的のもと、平成19年にキリンビール株式会社、公益財団法人国土緑化推進機構、活動主体となる団体「やおつ水源の森づくり実行委員会」および岐阜県との間で「キリン木曾川水源の森づくり協定書」を締結しました。町有地4.2haにサクラやコナラなどの苗木約7,000本を植樹してきました。また、毎年2回実施する植樹作業や下草刈りなどの周辺整備の活動を通して、参加したボランティアの方々同士の交流を行っています。12年目も下草刈りや間伐、補植活動を引き続き行っていきます。見事に育った桜の木が春には一斉に咲きほこり、八百津町の新たな観光スポットにもなりつつあります。



## 見行山遊歩道等整備事業の紹介

前述した八百津町で一番高い山である見行山は、標高は905mで県内では決して高い山ではありませんが、昔から地域に親しまれてきた山です。水源地としての保全と並行して、観光資産としての価値を高めるべく、平成27年度から新たに登山道や山頂周辺の整備を行い、加えて道標の設置や登山口付近にトイレを建設するなど、気軽に登山を体験し、見行山の木々や周囲の景色を楽しんでいただけ環境を整える事業を進めてきました。以降、登山に訪れる方が増加しました。今後も、登山道周辺の整備を続けていきます。



木材の需要低下や森林所有者の高齢化、世代交代等による森林境界の不明瞭化など、さまざまな理由により、森林整備が行き届かない山林が増えてきているのが現状です。岐阜県の清流の国ぎふ森林・環境税や今年度より始まる森林・環境譲与税を上手に活用しながら、より良い森林整備を進めていきたいと思っています。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0574-4312111(代)  
八百津町役場農林課まで

# 『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

## 清流の国ぎふ地域活動支援事業

～住民主体の創意工夫ある森づくり・川づくり～

平成24年度から平成30年度までの7年間で延べ295件の事業が実施されました。

平成31年度は、55の団体がそれぞれ特色ある事業を実施します。

団体等名	事業名
竹林救援隊	子供たちを主体として竹林からの恩恵を分かち合う事業
三輪の里山を守る会	恵みの森づくり推進事業
ぎふし森守クラブ	ながら川ふれあいの森 森林教育・森林整備活動
本巢林研クラブ	外山地域森づくり
ぎなんプレーパークの会	ぎなんで自然を体験しよう 2019 ～プレーパーク～
四国山を守る会	四国山香りの森公園整備・植林・ふれあい体験事業
長良川自然学校	長良川 川の学校事業
森・川・海ひだみの流域連携協議会	森・川・海ひだみの流域活動と流域活動フォーラムの開催
金生山自然文化苑保存会	岩美公園自然保護活動
ピープルズコミュニティ	ぎふ地球環境塾
大垣市環境市民会議	ふるさと大垣環境教育事業
木の駅上石津実行委員会	間伐材の有効利用
木曾三川子ども狂言クラブ	木曾三川保全狂言プロジェクト
立木学園	木育推進事業
いび森のようちえんこだぬき	おやこ木育Café
雲上の櫻愛好会	池田町の宝樹 雲上の櫻を未来に残そう、増やそう
愛宕山ランド	子どもと自然をぐっと近づける森づくり
自然 生活共生会	「森と海は一つ」新しい森づくり川づくり
昭和造園土木株式会社	百年公園の森をつなぐ木育WS事業
郡上漁業協同組合	第10回長良川源流の森育成事業
郡上地域活性化協議会	郡上八幡城山公園一帯整備事業
みのかもアルプホルンクラブ	アルプホルンを吹こう
山之上まちづくり協議会	山之上まちづくり活性化プロジェクト
三和まちづくり協議会	みわまちづくりプロジェクト
金谷里山整備支隊	ボランティアによるタケノコ倒しと新生竹伐採活動
半布里の郷	富加の自然を守る里山整備活動
可茂森林組合	H31可茂南部100年の森づくりプロジェクト 【エコ薪】でCO <sub>2</sub> 削減せよ!
美濃白川どんぐり会	落葉樹林 植林・育成、河川環境保全事業
川合まちづくりの会	子どもたちに引き継ぐ川づくり推進事業
若葉会	未来につなぐ森・川づくり推進事業
木曾川左岸遊歩道友の会	木曾川左岸遊歩道等周辺整備事業
曾木まちづくり協会	曾良山登山道整備事業

団体等名	事業名
小里川ダム里山教室	2019秋の小里川ダム湖周ウォーキング
やすらぎの森まもり隊	やすらぎの森自然保護活動
里山を守る会武並	里山・みんなの森づくり事業(多目的広場改修事業)
土岐川庄内川源流の森委員会	土岐川・庄内川源流の森の資源、恵みを発見し生かす方策の提言、活動の担い手養成と上下流域の交流を通じて森、川、里づくりを進める活動
奥矢作森林塾	峰地区における森づくりと担い手づくり活動事業
福岡林業経営研究クラブ	中学生への森林環境教育
恵那山みどりの会	中津川市の竹林整備事業
ひるかわ里山活性化委員会	里山活性化事業
加子母小郷区	加子母大杉地蔵堂地区 乳子の池活性事業
付知町優良材生産研究会	未来を担う中学生への森林環境教育
いのちもり	森とくらしの学校
加子母むらづくり協議会	かしも学びの森 木の匠育成事業
保養地の山をよくする会	美しく楽しい四美の森づくり
竹原東部森林造成組合活動組織	竹原東部里山環境学習事業
中切区里山環境整備活動組織	中切区里山整備事業
野上里山整備隊活動組織	野上子ども環境教育促進事業
ふるさとの森再生の会よのさ	トータル的に損をしない山づくり推進事業
森守クラブ合同会社 まつぼっくり	里山の資源を活用した山づくり推進事業
森林資源活用フォーラム	飛騨地域におけるアロマ資源の活用及び小規模林業の試行
二本木生産森林組合	飛騨高山「彦谷の里」里山活用と広葉樹林育成事業
ひだの未来の森づくりネットワーク	フリーマガジンと協働した森林に関わる情報発信活動
高山山の森保全の会	高山南エリア里山整備林事業
森の自然学校	岐阜清見 森づくり、里山整備事業



三和まちづくり協議会  
(みわまちづくりプロジェクト)



長良川自然学校  
(長良川 川の学校事業)

【恵みの森づくり推進課 長谷川 彩】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8472 恵みの森づくり推進課まで



# 山のおじまむし



## —しつこく調べる、クロシジミ—【第335回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

昆虫類の中には巣を作って集団で暮らしているものがある。よく知られているのがアリの仲間だ。アリは種類が多く、日本だけでも300種以上、全世界には1万数千種も生息している。土中や樹木内に巣を作って生活しているが、習性、行動などは種毎で違っている。しかし、共通していることがある。それはトップが女王アリで絶対的な権威者であること。そしてその下に王アリや働きアリ、兵アリなどの働き手がいて、女王の世話をしながら巣を大きくしているのである。しかもこれらの働き手は皆女王から産まれた子供ばかり。つまり血のつながっている家族なのである。女王は次々と卵を産む。それを子供たちが育てる。働き手はどんどん増え、巣の中の住人はものすごい数となるのだ。アリの仲間はこの数を武器に厳しい自然界を生き抜いているのである。これを実感するのが蟻の巣を壊したとき。中からものすごい数のアリが出てきて、巣の外へ幼虫を口にくわえて逃げ出し、時には襲いかかってくることもある。これだけのアリが巣の中にいる。どのような生活をしているのだろうかと興味湧いてくる。それを知るチャンスが来た。名古屋でアリの権威者である丸山宗利博士の講演会が開催されることを、たまたま目にした昆虫雑誌で知ったのである。すぐに予約をした。

× × × ×

博士は九州大学総合研究博物館で、アリやシロアリと共生する昆虫の多様性解明の研究をされている。ここ10数年はアフリカ、南米、アジアなど世界の国々へ出かけ、調査されている。講演はこれら外国での体験談が多かった。日本では想像できないようなアリの話が次々と出てきて、勉強になった。その一つがグンタイアリ。このアリは巣を造らず大集団でひたすら行進していく。その数数万匹。この間、昆虫やクモなどの獲物を襲って女王やその子供に餌を与えているのだ。大変凶暴で、時には昆虫以外のヘビやトカゲなども襲い、集団が去った後は何もいない空白地帯となるという。博士が目にした凄惨な光景が目に残った。またあるアリは数万の集団で別の種のアリの巣を襲い、幼虫や蛹を自分たちの巣に持ち帰り、これを餌にして生活しているという。これも数が多いから出来るのである。もっとすごいアリもいる。あるアリの女王は別の種の巣に潜り込み、そこにいる働き手に魔法?をかけて自分が女王だと思わせる。そしてそこにいたアリと生活しながら自分の子供を産み続ける。そのうちに自分の産んだ子供だけが働き手になってしまう。つまり巣を乗っ取ってしまうのである。また、あるアリは地面に落ちている種子を巣に持ち帰って、これを食料としている。しかし種子が発芽しては餌にはならないので、雨水の影響を受けない地下深くに貯蔵している

というから、その知恵には感心してしまう。こんな話が次々と紹介され、アリの世界に引き込まれていった。

× × × ×

日本のアリの話もあった。それはあるアリがチョウの幼虫を自分の巣へ運び込み、これに女王の産んだ子供(幼虫)を餌として与えるというからむごい話だ。しかし、このアリはお礼としてチョウから甘い汁をもらっているという。つまりどちらも利益のある持ちつ持たれつの生活をしているという話だった。日本には数種類生息しているが、その中の一種がクロシジミだった。久しぶりに聞いたこの名前。急に故N氏の顔が目に残り、あの日のことを思い出し、懐かしくなってきた。それは50数年前、私が高山市郊外の原山スキー場で薄汚い小さなチョウを1匹採集したことである。名前がわからなかったので、故N氏に聞いた。クロシジミだと教えてくれた。N氏が欲しいと言ったので、くれてやった。その後、クロシジミは蟻の巣の中でアリの幼虫を食べて育つこと。しかも、滅多に採れない珍しい蝶であることを知った。私はN氏にくれてやったことを悔やみ、返して欲しいと言った。しかし、「もらったのだから俺のもの」と言って返してくれない。この言葉だけが頭の奥底に残っている。



× × × ×

帰宅後、あのクロシジミはいつ採ったのだろうか。このことが気になってきた。しかし、高校生いや20歳の頃かも知れないが、まったく思い出せない。意地でも調べてやろう。また、私のしつこさが芽を吹いた。いろいろ調べた。あった。N氏が退職記念に自費出版した「岐阜県の蝶」に載っていたのである。そこには、高山市原山、1959年7月29日、野平照雄採集と記してあった。高校1年生の時か。もう60年前かと改めて驚いた。そして、そのクロシジミは現在どこにあるのか。N氏宅には残っていない。これも気になってきたので、しつこく調べるつもりだ。思えばN氏が亡くなってから10年経った。もうそんなに経ったのかと、在りし日のN氏の顔が目に残ってきた。博士の講演を聞きに行ったことで、自分の採集したクロシジミのことを知ることができ、よかったと思った。当時の私は甲虫類採集に夢中。それがなぜ見栄えのしないクロシジミを採って持ち帰ったのか。これだけはしつこく調べて(思い出しても)もわからないだろう。



# ソーシャルビジネスの

## 潮流と山村移住

岐阜県立森林文化アカデミー 教授 ● 嵯峨 創平

### 移住定住促進としての起業支援プログラム

私は2019年4月から岐阜県移住定住コンシェルジュの委嘱を受けました。森林文化アカデミーの学生達や地域おこし協力隊員に対する起業支援の活動をこれまで続けてきましたが、2016-2017年度に揖斐川町で派遣駐在員を務めたことを契機に「里山インキュベーターいびがわ」というプロジェクト名で、多様な森林資源や里山の生態空間を活用した起業支援の年間プログラムを開始し、これまで10名の修了生が起業プランを発表しました。今回はそんな活動の中で見えてきた新しい生業(なりわい)づくりの特徴とソーシャルビジネスの潮流について紹介します。

### 「ミレニアル世代」の意識や行動の特徴とは

内閣府や総務省などが実施した最近の世論調査によれば、都市圏に住む全世代の約3割が地方移住に関心を持ち、2010年代の若年層では5割を超えています。2008年度から始まった「地域おこし協

カ隊」の隊員数が2018年度には全国で5,000人を超えましたが、その多くが20-30代の若者層です。

転機は日本全体が人口減少に転じた2008年でした。この頃から若い世代の都市部からのイターーンが目立ち始め、地域の課題を解決するために仕事を新たに創っていく、ソーシャルビジネスや社会的企業に通じる動きが広がってきたと見られています。

若者たちは何故ローカルを目指すのか?「ローカルに生きる、ソーシャルに働く」新しい仕事を創る若者たち(農文協、2016)の編者・松永桂子氏によれば、ポイントには「個人の生き方」です。特に高度成長期後に生まれたミレニアル世代の意識は、行政のような公的ミッションを掲げるのではなく、個人個人が自身の柔軟なスタイルでそれぞれの課題に向き合うとする姿勢が特徴的で、彼ら彼女らのパーソナリティにはゆるやかさや遊び心が感じられます。没個性的な組織の一員としてではなく、顔の見える存在として地域で自分の仕事をつくっていくことに重きを置いていることが特徴的です。

### 「田園回帰」ムーブメントを可能にする社会条件

こうした動きを可能にする背景を考えてみると、次の4つが抽出できそうです。①リモートワークの広がりとIT技術の進歩によって、働く場所が都市でなくてもよい業種が広がり個人事業の立ち上げ条件が整ってきたこと。②地域循環型経済圏への志向・徳島県神山町を典型歴としてIT産業立地から生活産業さらには農業へといわば逆回転のような経済波及が見られ、その連鎖により地域経済循環が生まれる動きが起こっていますが、食・エネルギー・福祉教育など地域内で循環経済圏を形成する意識が高まっている。③生業(なりわい)づくりムーブメント…現代的な要素をもった「なりわい」の領域は、建築・デザイン・アートから、農業・林産業・畜産・地場産業の職人まで幅広く、共通するのは人に雇われるより「個の技」をベースに事業を営むことを職業選択とする意識が若者の間でかっこいい生き方モデルになっている。④パラレルキャリアの許容…大企業や公務員などで終身雇用や副業禁止などの原則がゆるみ始め

ています。プロボノや副業許容などの形で組織外の社会的な課題に関わることで、かえって社員の就労意欲が高まること知られてきた為でもあります。

### 個の動きが連鎖してソーシャルムーブメントへ

若い世代の特徴は、「個」が内向いて閉じることではなく、むしろ外に開かれていて、社会への関心が強いこと、個の役割・領分がはっきりしているからこそ、そこをベースに「公」や「ソーシャル」への関わりにも積極的ですが、けっして「公」に巻き取られない、吸収されない「個」の存在感があるという新しいスタンスです。

1980年代に脱都市化の先鞭をつけて地方移住したかつての若者達は、地に足の着いた暮らしと労働を自らの力で創造しつつ、産業社会の中で人間が失いつつあった能力を取り戻すことを謳っていました。それに比べて現代の動きは、イチから切り拓くのではなく、「継ぐ」「つなぐ」ことに意識が向けられているようです。プロジェクトごとに有機的なつながりはあるが、チームを常時組んで、生活を共にしているわけではない。反体制をまとっているわけでもなく、個人のライフスタイルの延長上で地方や地域をベースにした活動が特徴です。

私の活動フィールドである揖斐川流域でも、特用林産物に代表される多様な森林資源や民具・古民家・農業景観などを文化財的価値ではなくライフスタイルを豊かにする資源として活用する若い世代の事業主が連鎖的に登場しています。

## 治山・林道研究課題

治山、林道の各研究会では、日頃の業務で直面する課題について、調査・研究を行っています。今年2月に行われた発表会で発表された研究課題を紹介します。

## 自然公園内における自然侵入に配慮した緑化工法について

飛騨農林事務所森林保全課 坂下 一秀

### はじめに

高山市奥飛騨温泉郷平湯字湯ノ平地内の中部山岳国立公園内で、平成26年に大規模な山腹崩壊が発生しました。自然公園内の緑化には、在来種であっても地域外からの種子の持ち込みが制限されます。このことに配慮した復旧工事を行うため、飛来種子を利用した緑化工法を施工し、その効果を検証しました。

### 調査概要

#### 一 緑化工法・工種の選定

自然公園内で適用できる緑化工法の中から、現場周辺に豊富な広葉樹があるため、飛来種子により緑化する「自然侵入促進工」を選定しました。その工種として、侵食防止と飛来種子の捕捉の両方の効果が期待できる、当所が種子なしと提案した「モルタル袋付き植生マット」を採用しました(図1)。

#### 二 モルタル袋付き植生マットの有効性の調査

使用した製品は平成28年に発売された製品で、豪雪地かつ急斜面という条件で種子なしの施工事例がないことから、次の3項目について有効性を調査しました。

- ①モルタル袋は、小崩壊を止められるか？
- ②モルタル袋と不織布は、飛来種子を捕捉するか？
- ③無種子で植生が侵入するか？

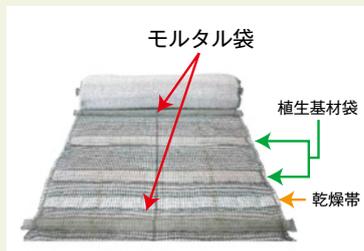


図1 植生マットの構造

### 調査結果

#### 一 小崩壊の防止について

法面に植生がないと侵食や崩壊が起りやすいですが、地山に密着したモルタル袋により、小崩壊が止められています(写真1)。



写真1 小崩壊防止状況

#### 二 飛来種子の捕捉について

崩壊の防止を目的としたモルタル袋が小段の役割をし、ナラ類等の大型の飛来種子を捕捉していました(写真2)。また、土壌侵食の防止が目的の不織布にも小型の飛来種子が留まっていました(写真3)。



写真2 大型種子の捕捉



写真3 小型種子の捕捉

#### 三 植生の侵入について

施工後、2年経過した法面でプロット調査を行った結果、土砂部は植被率10%、優占種がダケカンパで、木本4種、草本1種の植生侵入を確認しました。

また、軟岩部では、優占種が土砂部と

同じダケカンパで、植被率1%と低い状況でしたが、侵入植物は、木本3種、草本1種で肥料木のヤマハノキが確認できました(写真4)。

写真4 プロット状況



### まとめ

調査結果から、「種子なしのモルタル袋付き植生マット」は、法面の小崩壊防止や飛来種子の捕捉に対して有効であることが確認できました。一方で施工後2年間の調査で植被率も低いため、今後も継続的に調査を行い、植生が成立するのかが確認していきたいと考えられています(写真5)。



写真5 施工後2年経過した状況

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0577-331-1111

飛騨農林事務所森林保全課まで

## 早生樹を知っていますか

森林研究所 ● 大洞 智宏

### はじめに

最近、「早生樹」が林業関連の雑誌などで頻繁に取り上げられています。また、関連のシンポジウムなどが開催されており、早生樹への関心が高まっているようです。

### 早生樹とは？

早生樹とはどのようなものなのでしょうか。近畿中国森林管理局のホームページには、『書いて字のごとく、「早く」「成長する」「樹種」の総称です。一般的には、スギやヒノキに比べて初期の樹高成長量や伐期までの材積成長量が大きな樹種を指します。10年から25年位の比較的短伐期での収穫が可能で、センダン・ユリノキ・チャンチンモドキ・コウヨウザン等の種類があります』と記載されています。

### なぜ、いま早生樹？

過去に植えられたものが実際に大きくなり成長過程が明らかになりつつあ

ることや、今後、主伐・再造林が拡大することが想定されているため、スギ、ヒノキ以外の植栽樹種の選択肢として早生樹に期待が寄せられるようになりました。また、成長が良いことから、下刈り省略などによる保育作業のコスト削減やバイオマスとしての利用にも期待されています。

### コウヨウザン

現在、注目されている早生樹で建築用材として利用可能な樹種がコウヨウザン（写真1、2）です。

コウヨウザンは漢字で広葉杉と書き、中国・台湾原産の針葉樹です。中



写真1 コウヨウザン

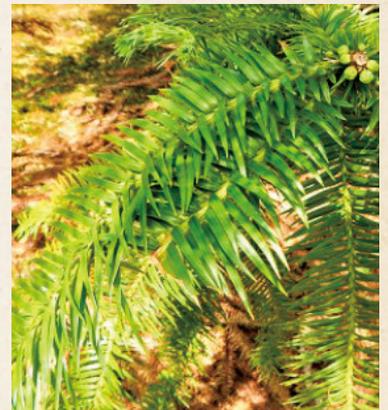


写真2 コウヨウザン葉

国では古くから建築用材として植林されており、日本には江戸時代以前に伝わっていたようです。広島県などでは過去に植林されているものが成林しており、その実績を基に植林が推進されています。しかし、岐阜県内では、林として存在している事例はなく、単的に寺社等で見ることが出来る程度です。

コウヨウザンの大きな特徴は、萌芽性が高いことです。このことよって、伐採しても切り株から新たな幹が伸び、再生するため、再度植栽する手間を省略できる可能性があります。実際に四国の国有林では、萌芽した幹の平均樹高が10mを超え、森林が再生しています。

### 適地適木の見極めが重要

(国研) 森林総合研究所の調査によれば、暖温帯と呼ばれる比較的暖かい地域がコウヨウザンの生育に適するとされています。したがって、岐阜県で

は県の南部が気候的な生育適地と考えられます(図1)。

様々な利点が挙げられている早生樹ですが、どこでもその成長のポテンシャルを発揮できるわけではありません。やはり、古くから言われているような「適地適木」の原則を守ることが重要になります。おそらく、早生樹といっても瘦せた土地では十分な成長は望めないため、実際に植える際には、適地をしっかりと見定めなければなりません。

このため、森林研究所では、最近植栽されたコウヨウザンの成長量調査や過去に植えられ既に大きくなったものの調査を実施しています。この結果を分析し、成長のポテンシャルや、植栽適地の条件について明らかにしていきます。

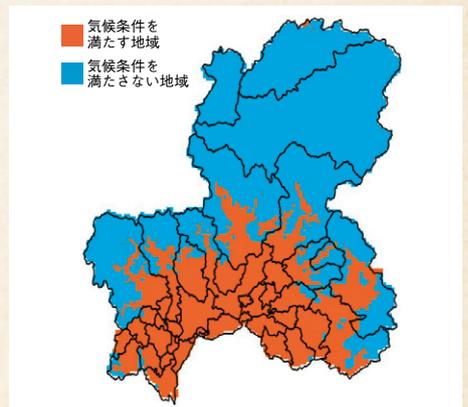


図-1 コウヨウザンの生育に適した気候の地域

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-1331-2585

森林研究所まで



# 地産地消型モデル事業 主伐・再造林実証プロジェクト (関市上之保)



■中濃農林事務所 林業普及指導員 間野 知宏

【本プロジェクトの構成員と役割】



県が進める100年先の森林づくりを実践するために、成熟した森林資源を循環利用し、林齢の平準化を図る主伐・再造林の実施は喫緊の課題です。中濃農林事務所管内においても、利用伐期を迎えた高齢級の森林が多く、若い森林が少ないことから、適正な主伐・再造林を推進する地産地消型のモデル事業として、関市上之保地内(関市有林)で「主伐・再造林実証プロジェクト」を実施しています。今回は、その取り組み内容について紹介しま

本プロジェクトは、森林所有者、木材の生産者及び利用者(川上・川下)が参画し、検討を重ね(打ち合わせ4回、現地調査・研修会4回)、地産地消型の取り組みを進めてきました。今回、関市有林から生産されたスギ、ヒノキの主伐材は、木材をふんだんに使用する産直住宅団体「協同組合上之保デカ木住宅センター」へ供給され、平成三十一年三月にオープンしたモデルハウスに使用されました。また、近年需要が低下しているヒノキについては、構造材・内装材に加え、関市内の学校机天板として、林地残材となる

## ポイントその1 「地域内連携と地産地消」

### 【事業地の概要】

- 面積 1.3ha
- 標高 299~421m
- 傾斜 34~38度
- 樹種 スギ(胸高直径=32cm、樹高=26m)  
ヒノキ( " =25cm、 " =22m)
- 林齢 51~73年生
- 搬出材積 575m<sup>3</sup>(スギ:ヒノキ=45:55)
- 材の割合 A材:B材:C材:D材=55:10:20:15



**morinoco**

モリノコ ナイフ

▲(柄:ヒノキの枝)  
提供:関市



▲産直住宅モデルハウス  
(構造材・内装材:スギ、ヒノキ)  
提供:(協)上之保デカ木住宅センター

枝については、「morinocoナイフプロジェクト※」におけるナイフの柄として使用される等、関市産材を広くPRすると共に、地域内で有効活用されています。

※関市が「刃物教育」と「木育」を推進するヒノキ間伐材(枝)を利用した子ども用ナイフを開発する産官学民連携プロジェクト。

## ポイントその2

### 「木材生産性の向上」

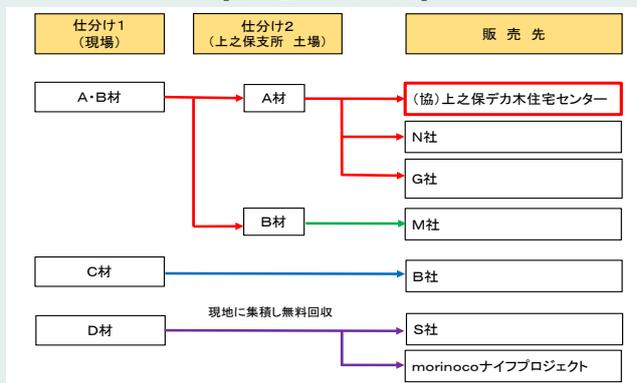
「中濃森林組合」は、近年直営班による「主伐」をほとんど実施していませんでした。今後、主伐・再造林を実施していく意向があることから、森林文化アカデミー林業普及指導員と協働で木材生産性向上に向けた現地検討会を4回(伐採前1回、伐採中2回、伐採後1回)行いました。現地検討会では、中濃森林組合若手直営班(3名)と現場担当者(1名)が参加し、伐採前は効率的な作業システム等の検討、伐採中は進捗状況、問題点等を共有し、改善に向けて検討を重ねました。伐採後は、結果を振り返り、次回の主伐に向けて意見交換を行いました。

また、木材を有利販売するため、中間土場(中濃森林組合上之保支所土場)でA・B材を仕分けし、販売先へ直送しました。



▲現地検討会の様子

### 【材の仕分け・販売先】



### 【作業システム】

- 伐採：チェーンソー
  - 集材：ウィンチ付きグラブ
  - 造材：プロセッサ
  - 運搬：フォワーダ(現場山土場迄)トラック(8t)(中間土場及び販売先迄)
  - 路網：既存路網を活用(新たな作業道を開設しない。)
- ※「木材生産性」⇒ 10.59m<sup>3</sup>/人・日



## ポイントその3

### 「獣害対策の実証」

再造林を実施するにあたり、当該地においてもニホンカモシカ、ニホンジカの生息が確認されたことから、地域における有効な獣害対策を検証するため、岐阜県森林研究所と連携し、獣害対策の実証試験を行っています。単木の対策では、「くわんたい」と、岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムの指導を受けながら、ヨーロッパの実績のある「TUBEX」を導入しました。面的防除では、通常支柱(支柱(FRP)+ポリエチレンネット)、エクセル線補強(通常支柱に、ネット

### 【再造林・獣害対策の概要】

- 樹種：スギ、ヒノキ
- 密度：1,500本/ha
- 獣害対策
  - 単木の対策2種類(ツリーシェルター)
    - ・くわんたい、TUBEX
  - 面的対策3種類(獣害防護柵)
    - ・通常支柱、エクセル線補強、立木支柱



の垂れ下がり防止するため、ネットを吊るすロープの上にエクセル線(樹脂線)を追加して補強、立木支柱(支柱に現地の立木を使用)等、新たな技術も取り入れながら、継続調査を行っています。



▲面的対策：立木支柱

### 【今後について】

「主伐・再造林」については、今年度も中濃森林組合が関市有林で実施予定です。また、(協)上之保デカ木住宅センターにおいては、今後も中濃森林組合と連携し、関市産材を活用していく意向です。このように、川上から川下まで連携した地産地消型の本プロジェクトは、少しずつ広がりをみせています。今後、ますます取り組みの輪が広がるように、関係者と連携し、支援を継続していきます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-3314011

中濃森林事務所まで

# 岐阜森林管理署長としての抱負

岐阜森林管理署長 宮崎 英伸

4月に岐阜森林管理署長として参りました宮崎です。どうぞよろしくお願ひします。

出身地は、九州佐賀県で当時の熊本管林局（現・九州森林管理局）に採用となり、9年間勤務しました。その後、林野庁本庁勤務と北海道森林管理局勤務を3回繰り返し、今回初めて九州、北海道、林野庁本庁以外の勤務となりました。

岐阜県には、林野庁本庁勤務時代に二度出張で訪れただけで、岐阜県の森林はほとんど未知の世界であり、岐阜森林管理署での勤務を大変楽しみにしている次第です。

さて、岐阜森林管理署長としての抱負ですが、まず、第一は国土強靱化緊急森林対策への取組と治山対策の推進です。

皆様すでにご存じのとおり、岐阜県は山が急峻で昨年7月に発生した豪雨の際には、多くに被害が発生しました。このため、間伐等の森林整



平成30年7月豪雨による山腹崩壊（川上国有林）

備や林道の改良を進めて行きたいと考えています。特に、間伐の実施に当たっては、流木対策として伐採木を林外に搬出する活用型を積極的に取り入れることとし、災害の未然防止に努めます。

また、荒廃山地の早期復旧対策として、災害関連緊急治山工事を併せて実施することとしています。



保育間伐（活用型）による搬出間伐

第二は、野生鳥獣被害対策です。

ニホンジカ対策として、揖斐地区・七宗地区・下呂地区・郡上地区において、職員による捕獲（くくり罠）、猟友会への委託による捕獲等を実施しており、昨年度は、841頭の捕獲を実施したところです。また、金華山のイノシシにつきましても、遊歩道利用者への被害が想定されることから、岐阜大学や岐阜市等と連携して様々な対策を講じていくこととしています。昨年度は猟友会による委託捕獲を実施し、8頭のイノシシを捕獲しました。本年度以降も引き続き地元自治体等と連携を図りながら進めていきたいと考えています。

第三は、林業の成長産業化に向けた多様な森林づくりの推進です。

林業の成長産業化を進めるために

は、低コストによる伐採・搬出、低コスト造林が不可欠です。

具体的には、伐採・造林一貫作業システムの実施、下刈り回数縮減を図るため早生樹、エリートツリー等の植栽を進めるなど、画一的な施策にとどまらず多様な森林づくりを行いたいと考えています。

また、東白川村・七宗町・郡上市等の五地区において森林整備推進協定を締結して、民有林と連携した施策の実施、森林・林業技術者の育成等を行っており、今後も引き続き森林・林業の再生に向けた取組を積極的に実施していく考えです。

以上が署長として主に取り組んで行きたい事項ですが、いずれにしても、地域との連携を密にし、岐阜森林管理署としてやれることはやるという姿勢で様々な事業を実施していきたいと考えていますので、今後ともよろしくお願ひいたします。





令和元年

# 山地災害防止キャンペーン

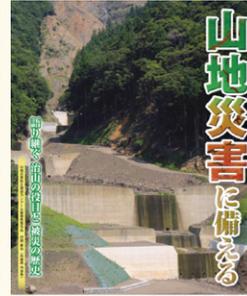


近年、集中豪雨等による山地災害が全国各地で多発し、人命・財産に甚大な被害が及んでいます。こうしたことから、岐阜県では県民の皆さんに山地災害に対する防災意識を高めてもらうため、国、県及び市町村が一体となって、「山地災害防止キャンペーン」を実施しています。

今年度のキャンペーン期間は、令和元年5月20日から6月30日です。岐阜県では、農林事務所や市町村役場等に山地災害防止キャンペーンポスターを掲示するとともに、市町村の広報誌に関連記事を掲載しています。

さらに、山地災害危険地区の周辺にお住まいの方たちを対象に現地説明会等でのPR活動も行っています。

また、キャンペーン関連行事として、山地災害防止標語及び写真コンクールが実施されますのでたくさんの応募をお願いします。



キャンペーンポスター



平成30年7月  
豪雨災害による山地災害の状況

## 【標語及び写真コンクールの応募先及び問い合わせ先】

(一社) 日本治山治水協会 標語・写真コンクール係 TEL 03-3581-2288 FAX 03-3581-1410

【治山課 木田 卓也】

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8526 治山課治山係まで



## 森林・林業関係イベントカレンダー (6~7月)

林業者向け

開催日	行事名等	内容等	開催場所 問い合わせ先
6月25日(火)~ 6月26日(水)	走行集材機械の 運転業務 特別教育	●講習時間：25日 9:00~16:00 学科 26日 9:00~16:00 実技 ●申込：開催日の10日前まで ●受講料：38,880円(本代含む)(振込み) ●定員：30名(定員になり次第締め切ります。 学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は10名 単位の開催となりますので実技受講者が10名以上 の場合は翌日になりますのでお問合せ下さい。)	25日(学科) 岐阜市六条江東2-5-6(ぎふ森林文化センター) 26日(実技) 関市洞戸地内山林(予定)  林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
7月9日(火)	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	●講習時間：9:20~15:00 学科 15:00~16:30 実技 ●申込：開催日の10日前まで ●受講料：11,340円(本代含む)(振込み) ●定員：30名(定員になり次第締め切ります。)	恵那市大井町2087-276(恵那建設会館)  林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
7月23日(火)~ 7月24日(水)	伐木等機械の 運転業務 特別教育	●講習時間：23日 9:00~16:00 学科 24日 9:00~16:00 実技 ●申込：開催日の20日前まで ●受講料：38,880円(本代含む)(振込み) ●定員：30名(定員になり次第締め切ります。 学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は10名 単位の開催となりますので実技受講者が10名以上 の場合は翌日になりますのでお問合せ下さい。)	23日(学科) 岐阜市六条江東2-5-6(ぎふ森林文化センター) 24日(実技) 郡上市地内山林  林材業労災防止協会岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



この原稿を書いているのは、平成31年最後の月ですが、発行時は令和元年になっています。いよいよ新たな時代が始まりました。

森林・林業の分野でも、4月から国版の森林環境税及び森林環境贈与税の制度が開始されました。また、「森林経営管理法」が4月から施行され、国版の森林環境税及び森林環境贈与税を財源とする「新たな森林管理システム」がスタートしました。これは、市町村が中心となって、これまで手入れがされず放置されてきた森林を整備していくもので、この制度により森林整備もまさに新たな時代に入ります。

この「新たな森林管理システム」は、所有者の経営意欲がなく放置されてきた森林の境界面定から始める必要がある等多くの課題があるように感じているが、岐阜県の素晴らしい森林を100年先、200年先に伝えていくためには大変重要な取組であり、必ず成功して欲しいと考えています。

「森林のたより」編集長 (公社)岐阜県山林協会 瀬上 繁隆

### イベント情報

#### 連載

- 山の歳時記(167)
- 山のおじゃまむし(336)

#### 森の名手・名人

#### 地域の人

#### 清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(79)

#### 木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(76)

#### 清流の国ぎふ森林・環境税

#### わがまちの森林・環境行政(31)

#### 森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

#### 市況情報

#### その他

7月1日発行

7月号  
予定

## 木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考
第1692回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	12,500	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格
		4 m	16~18cm	11,500	—	
			20~22cm	13,800	—	
			24~28cm	13,000	17,100	
			30cm以上	11,200	20,800	
	6 m	16~18cm	13,000	—		
	5月14日 ひのき	3 m	16~18cm	17,500	—	
			20cm以上	13,500	—	
		4 m	16~22cm	17,800	—	
			24~28cm	16,000	—	
30cm以上			14,500	—		
6 m		16~18cm	22,000	—		
第1268回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~18cm	12,000	—	
		4 m	24~28cm	11,500	—	
			30cm以上	11,000	—	
	ひのき	3 m	16~18cm	17,000	—	
		4 m	20~22cm	16,000	—	
			24~28cm	15,000	—	
	6 m	16~20cm	22,000	—		
		まつ	4 m	24~28cm	8,500	—
	5月8日 ひめこ		4 m	24~28cm	12,000	—
		30cm以上		13,000	—	
5 m		30cm以上	—	19,000		
第1598回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~20cm	12,800	13,400	
		4 m	22~28cm	13,000	15,000	
			30cm以上元	13,500	16,000	
	ひのき	3 m	16~20cm	17,600	24,000	
			22~28cm	15,000	29,000	
		4 m	30cm以上元	—	—	
			13cm以下	9,000	—	
		6 m	22~28cm	16,000	23,000	
			30cm以上元	18,500	26,000	
	5月16日 まつ	4 m	22~28cm梁	7,000	—	
		30cm以上元	9,000	—		

## 木材市場

### 令和元年、最初の定期市を開催

#### 【商況】

水が上がり始めており、ヒノキ良材は価格は横ばい。スギ良材、並材ともに需要増により、活発な応札。スギ元木良材は継続して強含み、ヒノキ2m元直材30cm以上強含み。スギは3m柱、ヒノキは4m土台取りの需要が旺盛。並材販売は納材規格を遵守ください。合板向けスギ4m特に不足。ヒノキ2m元曲がりは合板向けが有利。(岐阜)

スギ3m、4m並材は応札も多く良好で推移。ヒノキ3m、4m(16~22cm)不足。スギ太物欠点材は売りにくい。合板向けスギ4m不足。広葉樹良材は相変わらず人気で、ナラ、サクラが強気でナラ薪材が人気。(飛騨)

全般に横ばいで推移。ヒノキ元木、良材(高齢材及び枝打材など(特殊材))2m・3m・4mは、応札多く横ばいか若干高値。ヒノキ並材は3m・4m(16~28cm)横ばい、6m(16~20cm)需要減。スギは全般的に品薄、4m元木、良材は応札も多くやや高値、二番玉並材は3m・4m(16~28cm)横ばい、6mは需要減。枝虫材等、欠点材は売りにくい。(東濃)

#### 製品卸売標準価格 (4月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m <sup>3</sup> 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	65,000	( 2,150)	→
	間柱	3000	105	30	1等	65,000	( 614)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	( 2,867)	→
		3000	120	120	特等	60,000	( 2,592)	→
	柱	3000	120	120	(東濃松)特等	65,000	( 2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
W集 ウ成 ド材	柱	3000	105	105	国産5層	61,000	( 2,000)	→
		3000	120	120	国産5層	61,000	( 2,630)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

#### 外材市況 (4月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	306	米榎	へム(アラスカ産)	299
	コースト(目荒)	324	米ひば	ポール	310

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)



#### ぎふ性能表示材

木材用語一口メモ

JAS規格に準じ岐阜県が定めた含水率・ヤング係数(強度)・寸法などの測定・表示基準をクリアしたぎふ証明材です。長期優良住宅等品質・性能の優れた住宅として使用できます。

ぎふ証明材とは、合法的(伐採の届け出や許可)に伐採された岐阜県産材です。